

# 令和7年度 玉野市水道事業審議会

水道料金改定の検討について

第2回審議会資料

令和7年10月28日

玉野市建設部水道課

## 目次

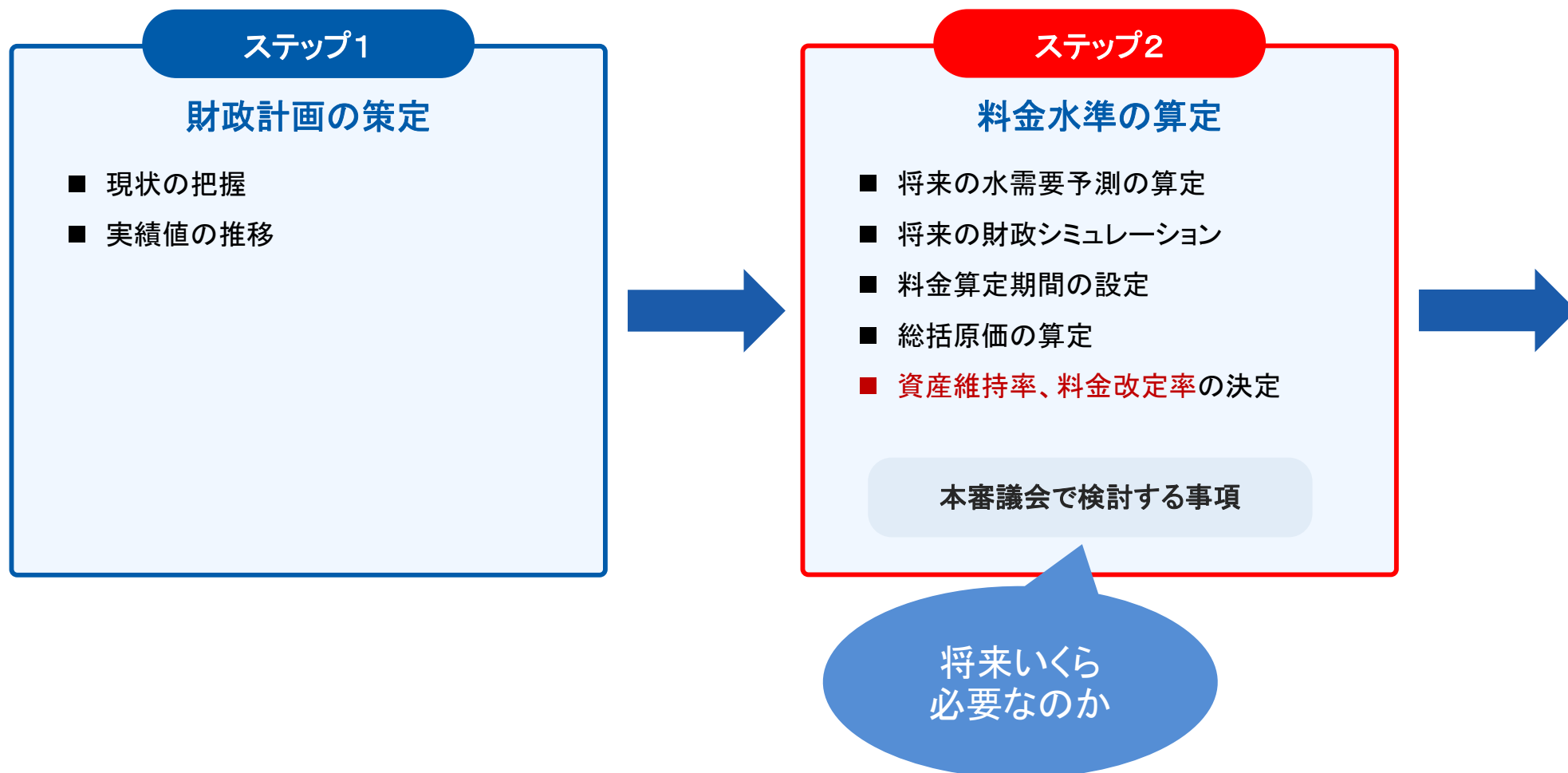
### 1. 水道料金改定の検討について

■ 1. 料金改定の検討にあたって	3
■ 2. 水道事業の投資・財政計画	5
■ 3. 玉野市水道事業の経営状況	7
■ 4. 水道料金について	8
■ 5. 料金設定の考え方	9
■ 6. 料金算定期間と資産維持率(参考)	12
■ 7. 料金改定検討の方針	13
■ 8. 料金改定シミュレーション	15
■ 9. 試算結果	19

2. 今後のスケジュール(予定)	25
------------------	----

## 1-1. 料金改定の検討にあたって

今回の審議会は、将来の財政シミュレーション結果を踏まえて、料金改定率について審議いただきます。



(出所) 公益社団法人日本水道協会「水道料金算定要領」を参考に作成

## 1-2. 料金改定の検討にあたって

次回以降の審議会は、決定した料金改定率を踏まえて、料金体系について審議いただきます。

### ステップ3

#### 料金体系の設定

- 料金体系の選択
- 用途別基本水量、料金単価の設定
- 従量料金の単価、逡増度の設定

第3回以降の審議会で検討

どのように  
負担してもらうのか

### ステップ4

#### 料金表(案)の確定

- 各種検討事項の説明
- 料金表案の提示

第3回以降の審議会で検討

## 2-1. 水道事業の投資・財政計画(料金改定無し)

### 収益的収支(単位:千円)と資金残高(貯金)のシミュレーション

【水道事業】		(単位:千円)													
区 分	年 度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度	令和13年度 2031年度	令和14年度 2032年度	令和15年度 2033年度	令和16年度 2034年度	令和17年度 2035年度
		実績	実績	決算見込み	予算	計画1	計画2	計画3	計画4	計画5	計画6	計画7	計画8	計画9	計画10
水道事業 収益的収入		1,395,480	1,402,504	1,383,018	1,576,689	1,435,854	1,446,884	1,426,396	1,407,524	1,388,765	1,370,710	1,352,279	1,334,419	1,316,449	1,297,960
営業収益		1,294,866	1,206,047	1,280,528	1,418,559	1,330,176	1,347,159	1,328,124	1,309,255	1,290,549	1,272,586	1,254,780	1,237,128	1,219,626	1,202,272
料金収入		1,261,192	1,171,766	1,245,130	1,383,213	1,294,746	1,311,642	1,292,519	1,273,560	1,254,762	1,236,706	1,218,805	1,201,055	1,183,454	1,165,999
受託工事収益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 他会計負担金		7,396	6,130	7,267	4,232	4,317	4,403	4,491	4,581	4,672	4,766	4,861	4,958	5,058	5,159
その他 その他営業収益		26,278	28,151	28,131	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114	31,114
営業外収益		100,614	196,457	102,491	158,130	105,678	99,725	98,272	98,269	98,217	98,124	97,499	97,291	96,823	95,688
他会計補助金		0	90,694	0	54,074	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計負担金		2,121	8,065	1,007	5,216	5,450	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398	1,398
長期前受収益戻入		95,332	95,552	95,113	96,589	97,977	96,076	94,623	94,620	94,568	94,475	93,850	93,642	93,174	92,039
その他営業外収益		3,161	2,146	6,371	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251
水道事業 収益的支出		1,314,767	1,437,496	1,417,831	1,586,767	1,526,107	1,537,266	1,554,506	1,575,125	1,597,232	1,620,517	1,642,394	1,663,483	1,686,517	1,712,181
営業費用		1,282,220	1,392,006	1,382,525	1,542,091	1,481,432	1,496,171	1,511,543	1,530,629	1,551,131	1,572,921	1,593,382	1,612,924	1,634,428	1,658,537
職員給与費		148,792	106,039	120,892	140,595	134,317	137,989	141,761	145,635	149,616	153,705	157,907	162,223	166,657	171,212
基本給		67,175	47,028	46,669	47,026	48,128	49,444	50,795	52,183	53,610	55,075	56,580	58,127	59,716	61,348
その他		69,737	52,397	60,613	76,362	67,767	69,620	71,523	73,478	75,486	77,549	79,669	81,847	84,084	86,382
経費		848,711	976,586	958,937	1,090,676	1,045,608	1,051,406	1,057,904	1,064,147	1,070,376	1,077,038	1,083,701	1,090,358	1,097,006	1,103,641
動力費		19,986	17,297	18,438	31,560	25,249	25,367	25,483	25,597	25,710	25,832	25,953	26,072	26,190	26,305
修繕費		27,105	42,611	41,380	48,909	47,646	48,948	50,286	51,661	53,073	54,523	56,014	57,545	59,118	60,734
委託料		75,872	67,806	69,890	110,899	92,718	93,872	95,031	96,197	97,368	98,590	99,818	101,053	102,294	103,540
その他		723,703	847,543	827,591	892,944	875,772	878,881	882,647	886,114	889,523	893,261	896,952	900,588	904,165	907,680
減価償却費		271,353	294,275	292,152	293,183	287,054	292,144	297,065	305,852	315,962	326,809	336,214	344,591	354,820	367,544
有形固定資産減価償却費		271,353	294,275	292,152	293,183	287,054	292,144	297,065	305,852	315,962	326,809	336,214	344,591	354,820	367,544
無形固定資産減価償却費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用		32,547	45,490	35,307	44,676	44,675	41,096	42,963	44,496	46,101	47,596	49,012	50,559	52,088	53,644
支払利息		5,753	15,381	14,919	22,176	22,175	18,596	20,463	21,996	23,601	25,096	26,512	28,059	29,588	31,144
その他の営業外費用		26,794	30,109	20,388	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
経常損益		80,713	-34,992	-34,813	-10,079	-90,253	-90,383	-128,110	-167,601	-208,466	-249,807	-290,115	-329,064	-370,067	-414,221
特別利益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度純利益		80,713	-34,992	-34,813	-10,079	-90,253	-90,383	-128,110	-167,601	-208,466	-249,807	-290,115	-329,064	-370,067	-414,221
繰越利益剰余金又は累積欠損金		273,607	188,614	153,801	143,722	53,470	-36,913	-165,023	-332,624	-541,090	-784,986	-1,075,101	-1,404,164	-1,774,232	-2,188,453
現預金 残高		2,038,774	1,698,370	1,600,072	1,817,891	1,598,413	1,365,690	1,062,266	750,047	387,623	-46,278	-518,060	-1,045,104	-1,610,938	-2,209,348



## 2-2. 水道事業の投資・財政計画(料金改定無し)

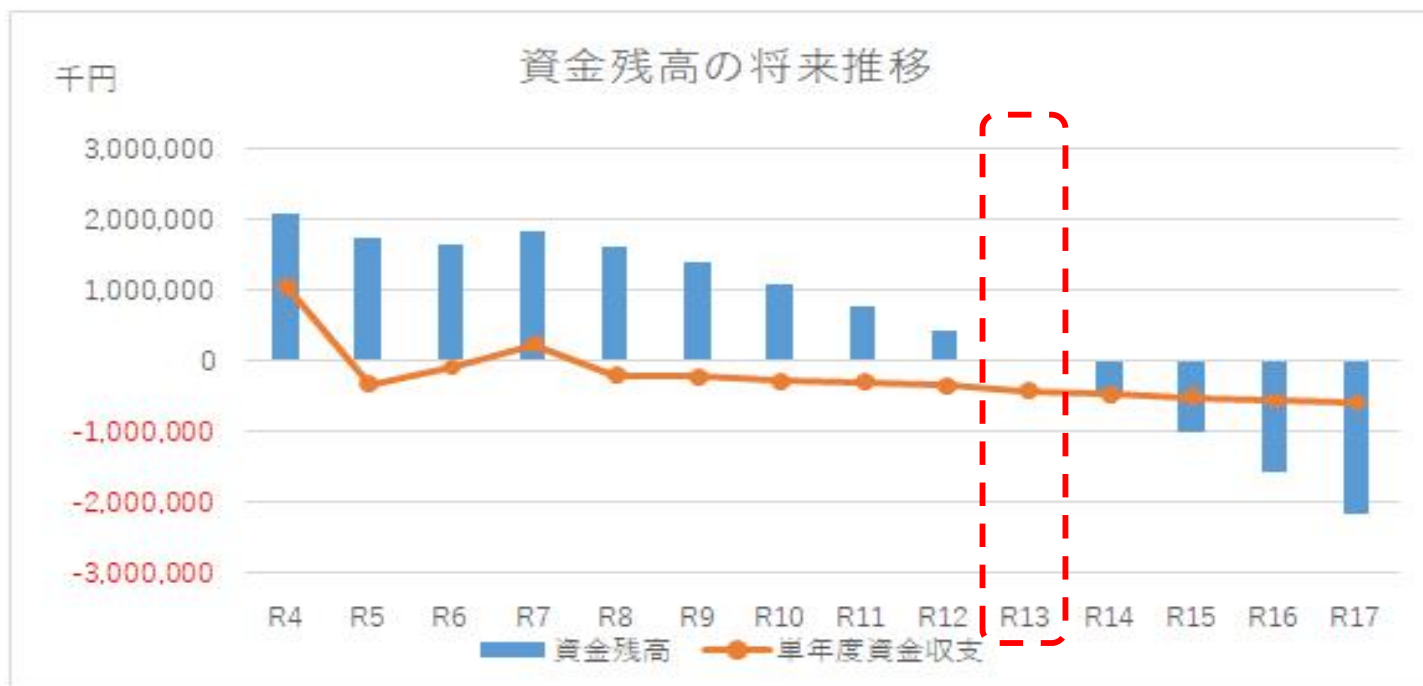
### 資本的収支(単位:千円)と減価償却率及び企業債のシミュレーション

【水道事業】		(単位:千円)													
区 分	年 度	令和4年度 2022年度 実績	令和5年度 2023年度 実績	令和6年度 2024年度 決算見込み	令和7年度 2025年度 予算	令和8年度 2026年度 計画1	令和9年度 2027年度 計画2	令和10年度 2028年度 計画3	令和11年度 2029年度 計画4	令和12年度 2030年度 計画5	令和13年度 2031年度 計画6	令和14年度 2032年度 計画7	令和15年度 2033年度 計画8	令和16年度 2034年度 計画9	令和17年度 2035年度 計画10
	資本的収入	1,411,017	231,459	277,496	494,566	180,950	174,224	188,028	180,872	184,139	200,378	204,225	212,062	214,926	214,200
企業債		1,118,100	0	72,800	255,000	166,803	161,378	175,119	167,898	171,099	187,272	191,050	198,817	201,609	200,811
他会計出資金		3,128	3,223	2,870	1,955	1,363	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計補助金		0	0	0	3,037	3,098	3,160	3,223	3,287	3,353	3,420	3,489	3,558	3,629	3,702
他会計負担金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計借入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国(都道府県)補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却代金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事負担金		282,067	216,587	196,381	223,827	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出		1,636,682	420,775	443,530	678,448	572,313	578,330	636,501	614,989	635,206	692,523	710,355	741,329	756,363	760,149
建設改良費		1,615,801	399,218	431,937	667,986	558,330	541,640	585,900	563,522	574,295	626,323	638,953	664,281	673,802	671,918
うち職員給与費		0	28,027	32,460	38,051	32,160	31,137	33,759	32,395	33,013	36,098	36,826	38,313	38,854	38,713
企業債償還金		20,881	21,557	11,593	9,962	13,983	36,690	50,601	51,467	60,911	66,200	71,402	77,048	82,562	88,230
その他		0	0	0	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支不足額		-225,665	-189,316	-166,034	-183,882	-391,363	-404,105	-448,473	-434,117	-451,067	-492,145	-506,130	-529,267	-541,438	-545,949
補填財源 計		225,665	189,316	166,034	183,882	391,363	404,105	448,473	434,117	451,067	303,259	314,397	325,243	336,764	350,410
損益勘定留保資金		80,889	157,928	131,414	146,771	343,295	357,591	225,573	228,096	238,258	249,198	259,229	267,813	278,509	292,369
利益剰余金処分額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰越工事資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良企業債積立金		0	0	0	0	0	0	172,399	157,593	163,440	0	0	0	0	0
減価積立金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		144,776	31,388	34,620	37,112	48,068	46,514	50,501	48,429	49,370	54,061	55,169	57,431	58,255	58,041
補填財源不足額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	-188,886	-191,732	-204,024	-204,674	-195,539
他会計借入金残高		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債残高		1,441,381	1,429,788	1,492,626	1,730,606	1,860,719	1,971,496	2,095,148	2,202,134	2,307,033	2,422,903	2,536,904	2,653,160	2,766,539	2,872,932
有形固定資産減価償却率(構築物)		41.63%	42.27%	42.92%	40.85%	42.23%	42.70%	43.07%	43.53%	44.05%	44.44%	44.82%	45.19%	45.56%	45.98%
有形固定資産減価償却率(全体)		42.08%	42.83%	43.49%	41.66%	43.02%	43.51%	43.90%	44.37%	44.84%	45.23%	45.62%	45.97%	46.33%	46.74%
企業債残高対給水収益比率		116.00%	123.01%	120.68%	126.13%	146.55%	154.17%	166.08%	177.69%	189.14%	201.69%	214.47%	227.78%	241.22%	254.49%
企業債発行額(千円)		1,118,100	0	72,800	251,963	166,803	161,378	175,119	167,898	171,099	187,272	191,050	198,817	201,609	200,811
企業債償還額(千円)		20,881	21,557	11,593	9,962	13,983	36,690	50,601	51,467	60,911	66,200	71,402	77,048	82,562	88,230

### 3. 玉野市水道事業の経営状況

#### 資金残高(貯金)の状況と将来シミュレーション

- 資金残高は、資金収支の赤字を補填するため、近年減少を続けています
- 現状の料金水準を維持して、経費削減等の取り組みを反映した将来的なシミュレーションを実施した結果、収益的収支及び資本的収支の損失は拡大していき、資金残高は令和13年度に枯渇する見込みとなりました



	実績	実績	決算見込み	予算	計画1	計画2	計画3	計画4	計画5	計画6	計画7	計画8	計画9	計画10
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
資金残高	2,038,774	1,698,370	1,600,072	1,817,891	1,598,413	1,365,690	1,062,266	750,047	387,623	-46,278	-518,060	-1,045,104	-1,610,938	-2,209,348
単年度資金収支	1,040,493	-340,404	-98,298	217,819	-219,478	-232,723	-303,424	-312,219	-362,424	-433,901	-471,782	-527,044	-565,835	-598,410

## 4. 水道料金について

### 独立採算制の原則

地方公営企業法第17条の2 第2項  
企業運営に関する経費は「当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない。」



水道事業は、税金などの外部資金に依存せず、水道料金を主な財源として**自立運営**されるべきものである。

### 水道法の要請

#### 水道法第14条第2項各号

- 料金が、能率的な経営の下における適正な原価に照らし、健全な経営を確保することができる公正妥当なものであること。
- 料金が、定率又は定額をもって明確に定められていること。

など



水道料金は、必要な費用を賄い、健全な経営を確保できる、**法令に示された原則に基づいた公正妥当な水準**でなければならない。

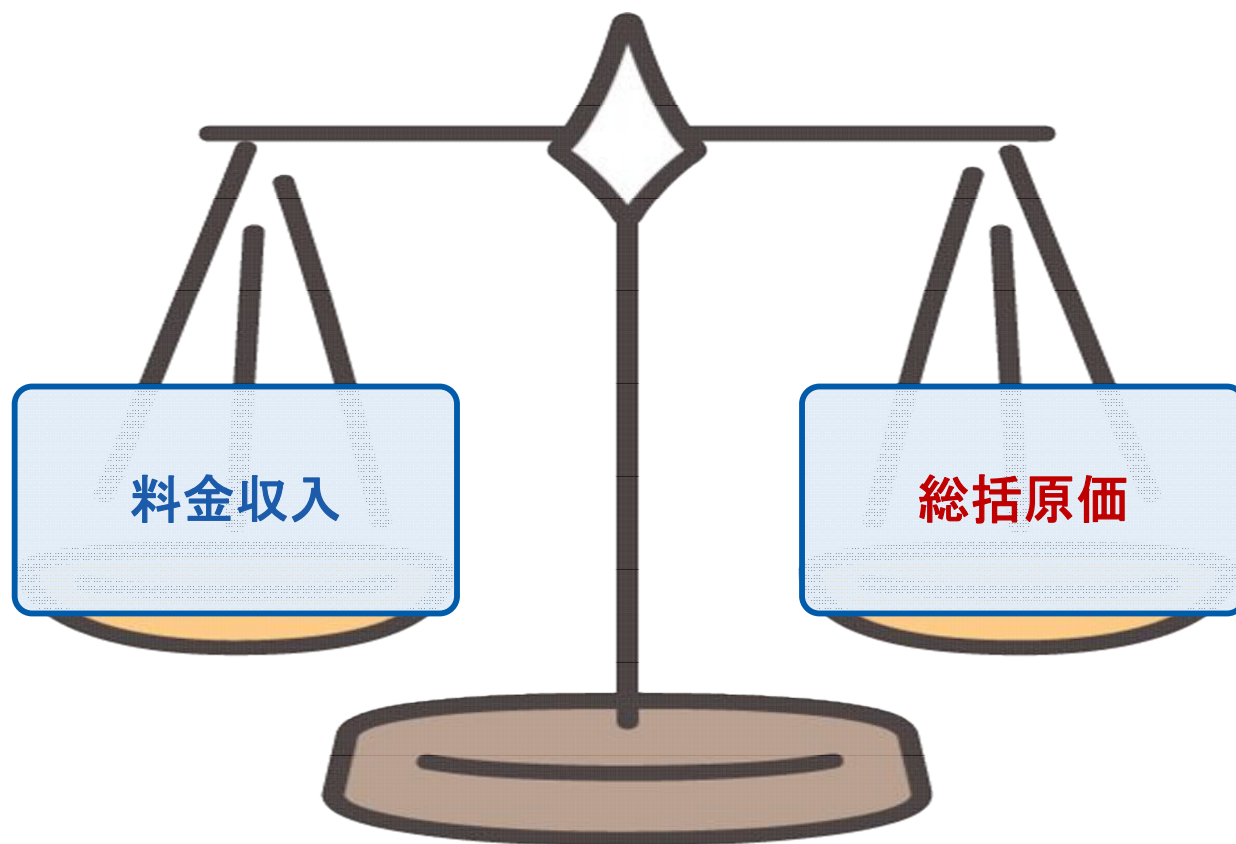


## 5-1. 料金設定の考え方

総括原価は料金収入で賄うこととされており、双方が均衡を保つ必要があります。

### 水道法施行規則第12条

水道料金の算定は、概ね将来の3～5年を基準とした料金算定期間において、総括原価と均衡を保つよう設定すること。

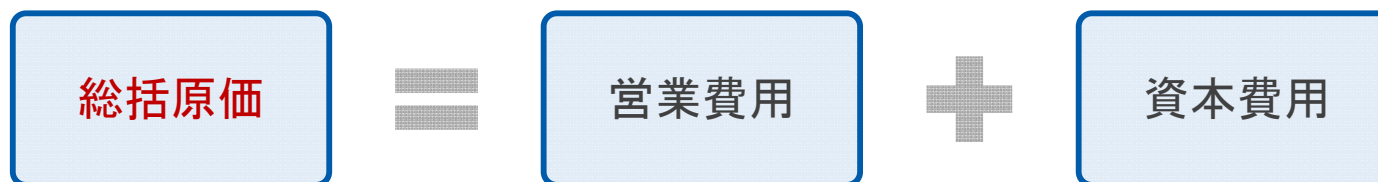


## 5-2. 総括原価とは

水道事業では、料金収入で収益的収支における営業費用を賄うとともに、資本的収支の不足分を補填するため、一定の利益を確保しておく必要があります。

これらの費用の合計を**総括原価**といいます。

**総括原価** = 料金収入で回収すべき費用の総額



営業費用	水道事業を運営する費用 受水費、水質・施設管理等の委託費、人件費、動力費など
資本費用	水道施設を強化するために必要な費用 <b>資産維持費</b> 、支払利息(企業債の借入れに伴うもの)

## 5-3. 資産維持費とは

**資産維持費**とは、水道施設の更新や耐震化のために必要となる費用（見込み額）のことで、玉野市水道事業が保有する資産の額をもとに、施設の更新状況などにより、次の算式により算定します。

### 水道法施行規則第12条

**資産維持費**とは、水道施設の計画的な更新等の原資として内部留保すべき額

※（公社）日本水道協会発行の『水道料金算定要領』では、**資産維持率**は**3%**を標準とし、各水道事業者の施設の更新状況などを勘案して決定することとされている

$$\boxed{\text{資産維持費}} = \boxed{\text{維持すべき対象資産}} \times \boxed{\text{資産維持率}}$$

管路やポンプなど  
玉野市水道事業の所有資産

R6年度末時点：約85億円（償却未済額）

## 6. 料金算定期間と資産維持率(参考)

料金算定期間が短いほど、資産維持率が低いほど、料金改定率は小さくなります。

### 料金改定率の比較

投資予定の建設改良費  
より算出した  
資産維持率及び料金改定率

		資産維持率			
		6.54～6.68%	3.00%	2.25%	1.35%
料金算定期間	5年	65.69%	38.41%	32.68%	25.80%
	10年	75.26%	45.40%	39.43%	32.27%



### 2か月40m³料金(税込)の比較【現行4,389円】

		資産維持率			
		6.54～6.68%	3.00%	2.25%	1.35%
料金算定期間	5年	7,272	6,075	5,823	5,521
	10年	7,692	6,381	6,120	5,805

総括原価を全て賄うために  
必要な料金の額

## 7-1. 料金改定検討の方針

前回審議会（令和7年7月28日）でいただいたご意見をふまえ、今回の料金改定を検討していく方針です。

検討項目	料金改定検討の方針
(1) 資金残高の確保	・事業経営を継続するために、計画10年目時点で資金が枯渇しないことを前提とする。
(2) 投資経費の抑制	・基幹管路の更新を念頭に置きつつ、重要度・優先度による順位付けにより投資計画を策定し、適切な額の投資を行う。 ・ただし、主に基幹管路の耐震適合率については、算定期間5年目（計画6年目）で10%以上（令和6年度末比）の向上を目指す。
(3) 企業債残高の抑制	・試算の結果、健全な事業継続に必要な投資を自己財源のみで行うためには約66%の料金改定が必要であった。 ・上記の改定率は市民生活の維持を考慮すると現実的でないため、当面の不足分については企業債を活用することとする。 ・更新投資に係る企業債比率を可能な限り低い値とする。
(4) 料金改定 (改定時期と改定率)	・改定時期は令和9年度の第1期調定分からとする。 ・改定率については、上記(1)～(3)を踏まえたものとする。 ※ 具体的には、 <b>今回</b> の審議会で審議いただきます。
(5) 料金体系の見直し	・経営の安定化を図りつつ、利用者の過度な負担とならないように設定する。 ※ 具体的には、 <b>次回</b> の審議会で審議いただきます。



## 7-2. 料金改定の試算条件(案)

玉野市水道事業の持続可能性、あるべき姿を見据え、試算条件を設定しました。

項目	改定案1	改定案2	改定案3	改定案4
資産維持率	3.00%(自己財源分)  ※(公社)日本水道協会発行の『水道料金算定要領』では、資産維持率は3%を標準としている	2.25%(自己財源分)	1.35%(自己財源分)	1.35%(自己財源) → 4.62%(剰余金取崩し含む)  ※ 料金収入で総括原価を満たすことはできないが、計画10年目まで現金が残る値
企業債残高対給水収益比率	料金算定期間の終期(令和13年度末)200%を目標とする	同左	同左	同左
施設の耐震化	令和13年度末 基幹管路の 耐震適合率50%以上	同左	同左	同左
料金改定率	38.41%	32.68%	25.80%	25.80%
料金算定期間	令和9~13年度 (5年間)	同左	同左	同左
料金改定期期	令和9年度 第1期調定分より	同左	同左	同左

## 8-1. 料金改定シミュレーション

### 案1のシミュレーション 現預金と企業債の残高の推移

- 算定期間 : R9～R13 年度(5年間)
- 建設改良費:投資予定額(別紙)(物価上昇率 毎年度 2.00%)
- 資産維持率:3.00%(自己財源分)
- 必要料金改定率:38.41%
- 現預金残高:計画6年目末 2,954,469千円      計画10年目末 3,227,058千円
- 企業債残高:計画6年目末 3,321,993千円      計画10年目末 4,589,414千円

算定期間

単位:千円

建設改良費自己財源割合	25.96%	45.61%	44.18%	39.68%	42.20%	40.84%	37.22%	36.25%	34.48%	33.70%	33.37%
資産維持率(自己財源分)	2.15%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%	3.00%
	予算(参考値)	計画1	計画2	計画3	計画4	計画5	計画6	計画7	計画8	計画9	計画10
	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
営業費用											
維持管理費	1,217,908	1,177,014	1,186,663	1,200,175	1,210,430	1,220,778	1,231,676	1,242,690	1,253,814	1,265,048	1,276,391
減価償却費	293,183	287,054	292,144	297,065	305,852	315,962	326,809	336,214	344,591	354,820	367,544
資産減耗費	31,000	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364
合計 1	1,542,091	1,481,432	1,496,171	1,514,604	1,533,646	1,554,103	1,575,850	1,596,268	1,615,769	1,637,231	1,661,299
資本費用											
支払利息	22,176	22,175	18,596	21,936	25,006	28,595	31,829	35,112	38,932	42,815	46,907
資産維持費	188,874	269,996	276,004	283,071	289,264	295,448	302,725	310,065	317,844	325,575	332,874
合計 2	211,050	292,171	294,599	305,007	314,270	324,043	334,554	345,177	356,776	368,390	379,781
控除項目(給水収益以外の収益) 3	193,476	141,109	135,242	133,877	133,964	134,003	134,004	133,474	133,364	132,995	131,961
総計(総括原価) ① = 1 + 2 - 3	1,559,666	1,632,494	1,655,528	1,685,734	1,713,952	1,744,144	1,776,400	1,807,972	1,839,181	1,872,627	1,909,120
料金収入 ②	1,383,213	1,294,746	1,766,084	1,740,336	1,714,809	1,689,498	1,665,186	1,641,082	1,617,183	1,593,484	1,569,981
不足額 ③ = ② - ①	-176,453	-337,748	110,556	54,602	857	-54,646	-111,214	-166,889	-221,998	-279,143	-339,139

料金改定  
38.41% 実施

計画2～6までの総括原価 ①	8,575,757
計画2～6までの料金収入 ②	8,575,912
計画2～6までの不足額 ③ = ② - ①	155
計画2～6までの必要料金改定率 ③ ÷ ②	-0.00%
2か月40m料金(税込)	6,075円

料金算定期間内で  
総括原価を満たすことが  
できている

現預金 残高	1,817,891	1,721,142	1,980,031	2,287,474	2,556,926	2,778,560	2,954,469	3,091,129	3,179,570	3,225,255	3,227,058
企業債 残高	1,730,606	1,983,448	2,222,327	2,511,381	2,763,221	3,020,317	3,321,993	3,627,361	3,950,859	4,275,570	4,589,414
企業債残高対給水収益比率	126.13%	156.03%	128.70%	147.26%	164.69%	182.89%	204.21%	226.44%	250.39%	275.14%	300.00%

## 8-2. 料金改定シミュレーション(2/4)

### 案2のシミュレーション 現預金と企業債の残高の推移

- 算定期間 : R9～R13 年度(5年間)
- 建設改良費: 投資予定額(別紙)(物価上昇率 毎年度 2.00%)
- 資産維持率: 2.25%(自己財源分)
- 必要料金改定率: 32.68%
- 現預金残高: 計画6年目末 3,036,540千円      計画10年目末 3,344,091千円
- 企業債残高: 計画6年目末 3,747,290千円      計画10年目末 5,327,754千円

単位: 千円

		算定期間										
建設改良費自己財源割合		25.96%	33.52%	31.44%	27.60%	29.37%	27.98%	24.83%	23.52%	21.64%	20.45%	19.48%
資産維持率(自己財源分)		2.15%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%	2.25%
		予算(参考値)	計画1	計画2	計画3	計画4	計画5	計画6	計画7	計画8	計画9	計画10
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
営業費用	維持管理費	1,217,908	1,177,014	1,186,663	1,199,683	1,209,945	1,220,300	1,231,205	1,242,225	1,253,356	1,264,597	1,275,947
	減価償却費	293,183	287,054	292,144	297,065	305,852	315,962	326,809	336,214	344,591	354,820	367,544
	資産減耗費	31,000	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364
	合計 1	1,542,091	1,481,432	1,496,171	1,514,111	1,533,161	1,553,625	1,575,378	1,595,804	1,615,311	1,636,780	1,660,855
資本費用	支払利息	22,176	22,175	18,596	22,746	26,644	31,083	35,184	39,354	44,082	48,894	53,940
	資産維持費	188,874	202,497	207,003	212,303	216,948	221,586	227,044	232,548	238,383	244,182	249,656
	合計 2	211,050	224,672	225,599	235,049	243,592	252,668	262,228	271,902	282,464	293,076	303,596
控除項目(給水収益以外の収益) 3		193,476	141,109	135,242	133,877	133,964	134,003	134,004	133,474	133,364	132,995	131,961
総計(総括原価) ① = 1 + 2 - 3		1,559,666	1,564,995	1,586,527	1,615,284	1,642,789	1,672,291	1,703,602	1,734,232	1,764,412	1,796,862	1,832,490
料金収入 ②		1,383,213	1,294,746	1,692,970	1,668,288	1,643,818	1,619,555	1,596,249	1,573,144	1,550,234	1,527,516	1,504,986
不足額 ③ = ② - ①		-176,453	-270,250	106,443	53,005	1,029	-52,736	-107,353	-161,089	-214,178	-269,346	-327,504

料金改定  
32.68% 実施

計画2～6までの総括原価 ①	8,220,492
計画2～6までの料金収入 ②	8,220,880
計画2～6までの不足額 ③ = ② - ①	388
計画2～6までの必要料金改定率 ③ ÷ ②	-0.00%
2か月40㎡料金(税込)	5,823円

料金算定期間内で  
総括原価を満たすことが  
できている

現預金 残高	1,817,891	1,788,641	2,058,047	2,363,740	2,633,310	2,856,806	3,036,540	3,178,969	3,275,205	3,330,667	3,344,091
企業債 残高	1,730,606	2,050,947	2,358,827	2,718,649	3,042,804	3,371,880	3,747,290	4,128,155	4,529,027	4,932,976	5,327,754
企業債残高対給水収益比率	126.13%	161.24%	142.32%	166.05%	188.81%	212.61%	239.91%	268.43%	299.02%	330.72%	362.84%

## 8-3. 料金改定シミュレーション(3/4)

### 案3のシミュレーション 現預金と企業債の残高の推移

- 算定期間 : R9～R13 年度(5年間)
- 建設改良費: 投資予定額(別紙)(物価上昇率 毎年度 2.00%)
- 資産維持率: 1.35%(自己財源分)
- 必要料金改定率: 25.80%
- 現預金残高: 計画6年目末 3,134,729千円      計画10年目末 3,482,900千円
- 企業債残高: 計画6年目末 4,257,647千円      計画10年目末 6,212,658千円

算定期間

単位: 千円

建設改良費自己財源割合	25.96%	19.01%	16.16%	13.10%	13.97%	12.54%	9.97%	8.24%	6.23%	4.54%	2.98%
資産維持率(自己財源分)	2.15%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%	1.35%
	予算(参考値)	計画1	計画2	計画3	計画4	計画5	計画6	計画7	計画8	計画9	計画10
	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
営業費用											
維持管理費	1,217,908	1,177,014	1,186,663	1,199,091	1,209,362	1,219,725	1,230,639	1,241,668	1,252,806	1,264,055	1,275,413
減価償却費	293,183	287,054	292,144	297,065	305,852	315,962	326,809	336,214	344,591	354,820	367,544
資産減耗費	31,000	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364
合計 1	1,542,091	1,481,432	1,496,171	1,513,520	1,532,578	1,553,051	1,574,813	1,595,246	1,614,761	1,636,239	1,660,321
資本費用											
支払利息	22,176	22,175	18,596	23,718	28,609	34,067	39,210	44,443	50,261	56,190	62,380
資産維持費	188,874	121,498	124,202	127,382	130,169	132,952	136,226	139,529	143,030	146,509	149,793
合計 2	211,050	143,673	142,797	151,100	158,778	167,019	175,436	183,972	193,291	202,699	212,174
控除項目(給水収益以外の収益) 3	193,476	141,109	135,242	133,877	133,964	134,003	134,004	133,474	133,364	132,995	131,961
総計 (総括原価) ① = 1 + 2 - 3	1,559,666	1,483,996	1,503,726	1,530,743	1,557,392	1,586,067	1,616,245	1,645,745	1,674,689	1,705,943	1,740,534
料金収入 ②	1,383,213	1,294,746	1,605,170	1,581,768	1,558,567	1,535,562	1,513,465	1,491,558	1,469,836	1,448,296	1,426,935
不足額 ③ = ② - ①	-176,453	-189,251	101,444	51,025	1,174	-50,505	-102,780	-154,187	-204,853	-257,647	-313,599

料金改定  
25.80% 実施

計画2～6までの総括原価 ①	7,794,173
計画2～6までの料金収入 ②	7,794,532
計画2～6までの不足額 ③ = ② - ①	359
計画2～6までの必要料金改定率 ③ ÷ ②	-0.00%
2か月40m料金 (税込)	5,521円

料金算定期間内で  
総括原価を満たすことが  
できている

現預金 残高	1,817,891	1,869,640	2,151,616	2,455,144	2,724,796	2,950,465	3,134,729	3,284,023	3,389,554	3,456,692	3,482,900
企業債 残高	1,730,606	2,131,946	2,522,627	2,967,370	3,378,305	3,793,755	4,257,647	4,729,108	5,222,828	5,721,863	6,212,658
企業債残高対給水収益比率	126.13%	167.50%	160.31%	190.85%	220.67%	251.86%	287.06%	323.87%	363.22%	404.11%	445.74%

## 8-4. 料金改定シミュレーション(4/4)

### 案4のシミュレーション 現預金と企業債の残高の推移

- 算定期間 : R9～R13 年度(5年間)
- 建設改良費:投資予定額(別紙)(物価上昇率 毎年度 2.00%)
- 資産維持率:1.35%(自己財源)→ 4.62%(剰余金取崩し含む)
- 必要料金改定率:25.80%
- 現預金残高:計画6年目末 1,316,306千円
- 企業債残高:計画6年目末 2,422,903千円

料金収入で総括原価を満たすことはできないが、  
計画10年目まで  
現金が残るよう試算した  
シミュレーション

計画10年目末 5,168千円

計画10年目末 2,872,932千円

単位:千円

#### 算定期間

		25.96%	67.59%	67.83%	67.91%	67.90%	67.94%	68.01%	68.04%	68.08%	68.10%	68.12%
建設改良費自己財源割合		25.96%	67.59%	67.83%	67.91%	67.90%	67.94%	68.01%	68.04%	68.08%	68.10%	68.12%
資産維持率(自己財源分)		2.15%	4.36%	4.39%	4.75%	4.50%	4.58%	4.88%	4.90%	5.00%	4.99%	4.92%
		予算(参考値)	計画1	計画2	計画3	計画4	計画5	計画6	計画7	計画8	計画9	計画10
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
営業費用	維持管理費	1,217,908	1,177,014	1,186,663	1,199,091	1,209,362	1,219,725	1,230,639	1,241,668	1,252,806	1,264,055	1,275,413
	減価償却費	293,183	287,054	292,144	297,065	305,852	315,962	326,809	336,214	344,591	354,820	367,544
	資産減耗費	31,000	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364	17,364
	合計 1	1,542,091	1,481,432	1,496,171	1,513,520	1,532,578	1,553,051	1,574,813	1,595,246	1,614,761	1,636,239	1,660,321
資本費用	支払利息	22,176	22,175	18,596	20,463	21,996	23,601	25,096	26,512	28,059	29,588	31,144
	資産維持費	188,874	392,725	404,105	448,473	434,117	451,067	492,145	506,130	529,267	541,438	545,949
	合計 2	211,050	414,901	422,701	468,936	456,113	474,668	517,241	532,642	557,326	571,026	577,092
控除項目(給水収益以外の収益) 3		193,476	141,109	135,242	133,877	133,964	134,003	134,004	133,474	133,364	132,995	131,961
総計(総括原価) ① = 1 + 2 - 3		1,559,666	1,755,224	1,783,630	1,848,579	1,854,727	1,893,716	1,958,050	1,994,414	2,038,724	2,074,270	2,105,453
料金収入 ②		1,383,213	1,294,746	1,605,170	1,581,768	1,558,567	1,535,562	1,513,465	1,491,558	1,469,836	1,448,296	1,426,935
不足額 ③ = ② - ①		-176,453	-460,478	-178,460	-266,811	-296,160	-358,154	-444,584	-502,856	-568,888	-625,974	-678,518

料金改定  
25.80% 実施

計画2～6までの総括原価 ①	9,338,702
計画2～6までの料金収入 ②	7,794,532
計画2～6までの不足額 ③ = ② - ①	-1,544,170
計画2～6までの必要料金改定率 ③ ÷ ②	19.81%
2か月40㎡料金(税込)	5,521円

料金算定期間内で  
総括原価を満たすことは  
できていない

現預金 残高	1,817,891	1,598,413	1,600,485	1,585,562	1,557,244	1,474,536	1,316,306	1,116,209	856,898	539,188	5,168
企業債 残高	1,730,606	1,860,719	1,971,496	2,095,148	2,202,134	2,307,033	2,422,903	2,536,904	2,653,160	2,766,539	2,872,932
企業債残高対給水収益比率	126.13%	146.55%	125.97%	135.71%	145.20%	154.55%	164.81%	175.25%	186.12%	197.11%	207.95%



## 9-1. 試算結果(財政収支の推移の比較)

料金改定率が小さいほど料金収入が少なくなり、自己財源で建設改良費を賄うことが難しくなるため、企業債の借り入れが多くなります。  
また、年度が進むにつれて企業債残高が積み上がり、企業債残高対給水収益比率が上昇(悪化)します。

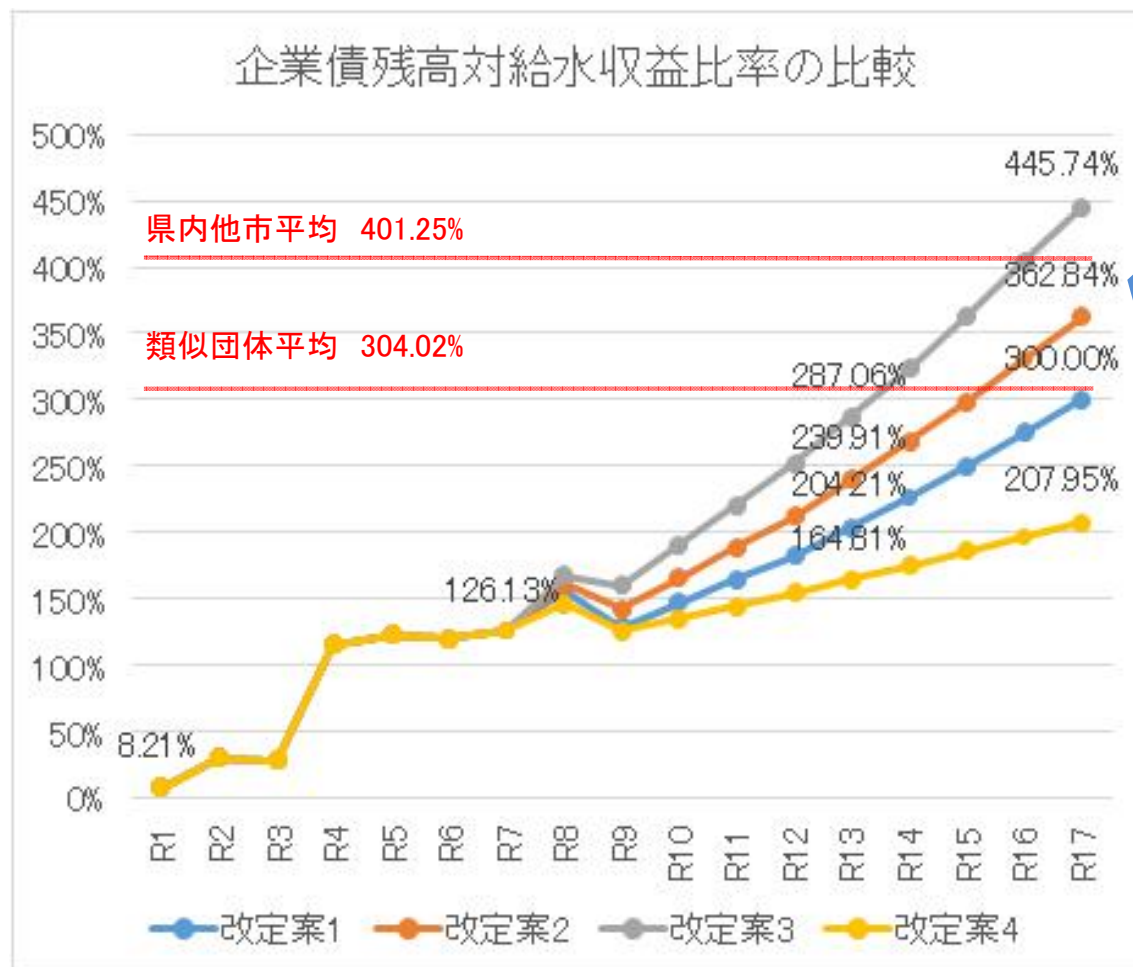
改定案4において  
企業債残高対給水収益比率  
は低くとどまるが、その分を  
自己財源で支出するため現  
預金残高が少なくなる

単位:百万円

		改定案 1	改定案 2	改定案 3	改定案 4
資産維持率(自己財源分)		3.00%	2.25%	1.35%	1.35%→4.62%
料金改定率		38.41%	32.68%	25.80%	25.80%
改定後料金(2ヶ月40m <sup>3</sup> )		6,075円	5,823円	5,521円	5,521円
算定期間 合計	料金収入	8,576	8,221	7,795	7,795
(R9~13年度)	企業債借入	1,650	2,013	2,449	863
R13年度末	現預金残高	2,954	3,037	3,135	1,316
(計画6年目)	企業債残高	3,322	3,747	4,258	2,423
時点	企業債残高対 給水収益比率	204.21%	239.91%	287.06%	164.81%
R17年度末	現預金残高	3,227	3,344	3,483	5
(計画10年目)	企業債残高	4,589	5,328	6,213	2,873
時点	企業債残高対 給水収益比率	300.00%	362.84%	445.74%	207.95%

## 9-2. 試算結果(企業債残高対給水収益比率の比較)

企業債残高対給水収益比率は料金収入に対する企業債残高の規模を表す指標で、数値が大きいほど、経営が不安定となります。



このグラフは、料金改定案ごとに、事業の借金(企業債残高)が年間料金収入の何倍になるか(企業債残高対給水収益比率)をシミュレーションしたものです。

どの案でもR9年度以降、比率は上昇し続けます。  
案3(資産維持率1.35%)は最も悪化が激しく、R15年度に県内平均を超過します。

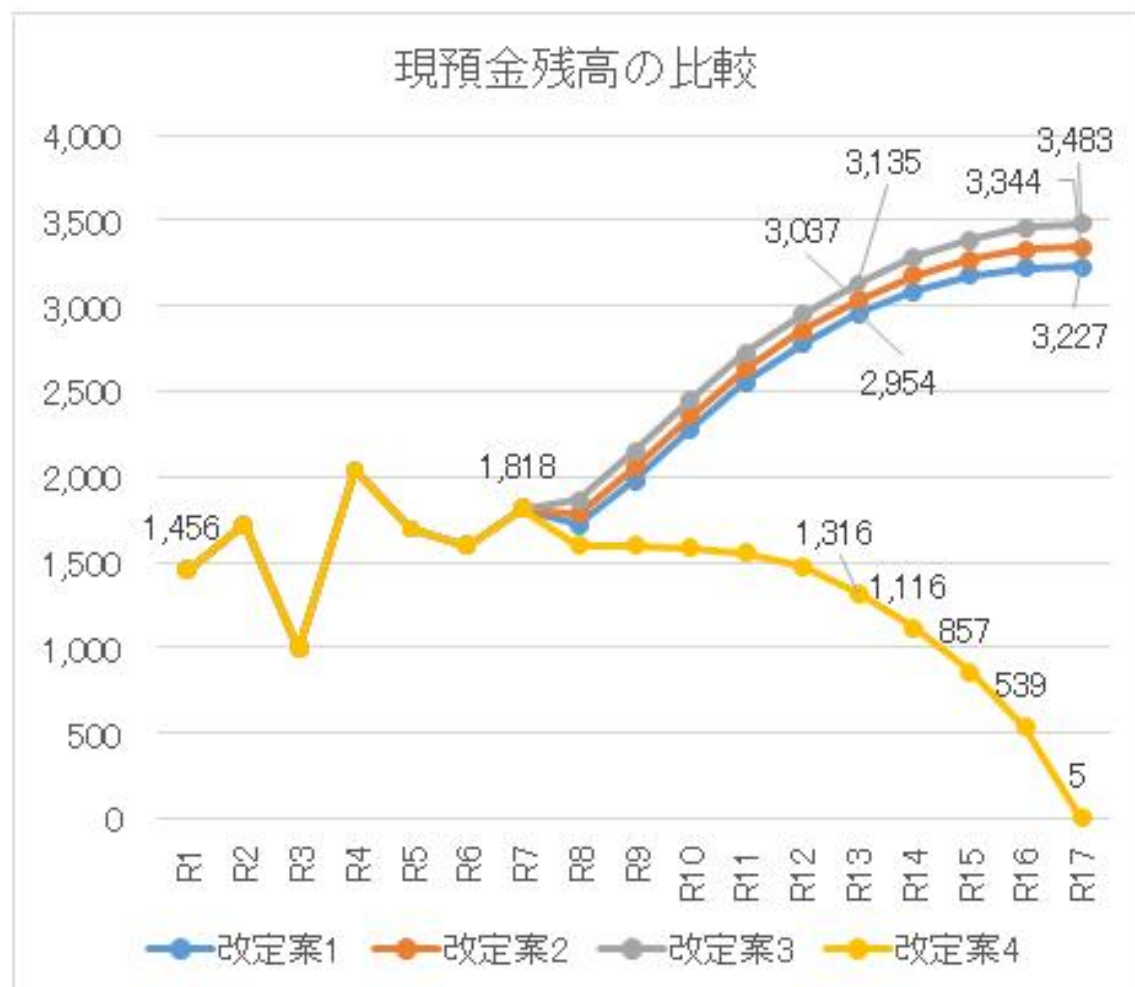
一方、案4(資産維持1.35%→4.62)は、最も上昇が緩やかで、類似団体平均を大幅に下回る水準を維持するため、4案中最も財務を健全に保てる計画だとわかります。

## 9-3. 試算結果(現預金残高の比較)

水道事業にとって現預金は、受水費や委託費、人件費や動力費などの日々の運営コストを支払い、施設の修繕や更新を行うための「血液」です。

もし現預金が枯渇すれば、各種費用の支払いが滞り、安全な水の供給という最も重要な責務を果たせなくなる可能性があります。

単位: 百万円



このグラフは、料金改定案ごとに、将来の現預金残高の推移をシミュレーションしたものです。

案1～3は、R8年度以降、現預金残高が増加しています。これは、建設投資に伴う企業債の借入によって手元現金が増え、かつ、5年間の据置期間中は元金返済の負担がないためです。

案4はR8年度から残高が減少し始め、元金返済が本格化するR12年度以降はさらに急減します。もし案4を採用する場合、短期的な料金の抑制は可能ですが、計画5年目頃には再度の料金改定の検討に着手する必要があります。

## 9-4 . 試算結果(水道料金の比較)

改定案1～4の料金改定率の違いによって  
下表のとおり、各使用水量の水道料金に違いが生じます。(概算)

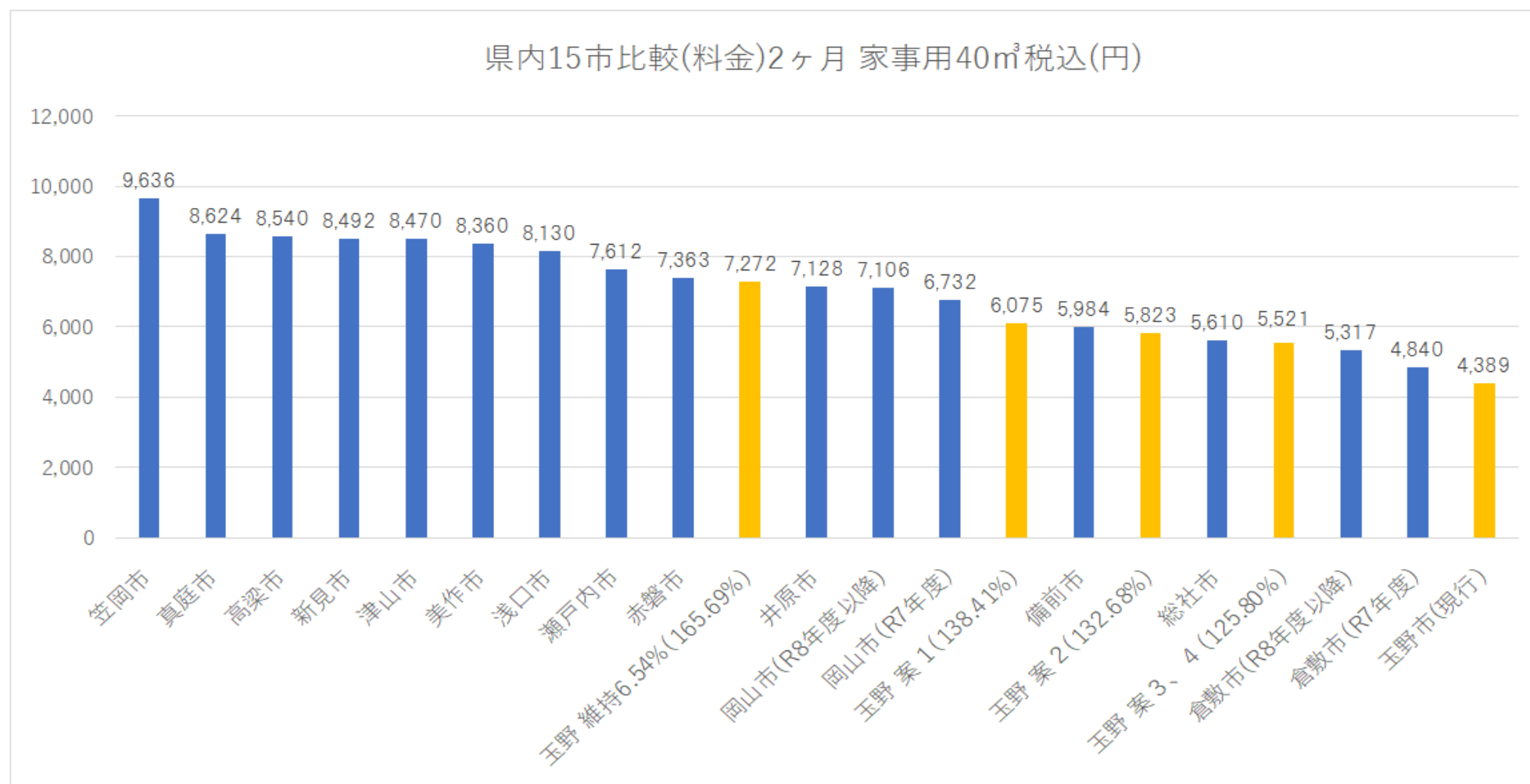
口径20mm料金 単位:円

用途	2ヶ月あたり 使用水量	現行料金	改定案 1	改定案 2	改定案 3、4
			料金改定率 38.41%	料金改定率 32.68%	料金改定率 25.80%
家事用	20m <sup>3</sup>	1,749	2,421 (+ 672)	2,321 (+ 572)	2,200 (+ 451)
	40m <sup>3</sup>	4,389	6,075 (+ 1,686)	5,823 (+ 1,434)	5,521 (+ 1,132)
	60m <sup>3</sup>	7,029	9,729 (+ 2,700)	9,326 (+ 2,297)	8,842 (+ 1,813)
	20m <sup>3</sup>	2,167	2,999 (+ 832)	2,875 (+ 708)	2,726 (+ 559)
	40m <sup>3</sup>	5,027	6,958 (+ 1,931)	6,670 (+ 1,643)	6,324 (+ 1,297)
	60m <sup>3</sup>	7,887	10,916 (+ 3,029)	10,464 (+ 2,577)	9,922 (+ 2,035)
営業用	100m <sup>3</sup>	13,607	18,833 (+ 5,226)	18,054 (+ 4,447)	17,118 (+ 3,511)
	500m <sup>3</sup>	70,807	98,004 (+ 27,197)	93,947 (+ 23,140)	89,075 (+ 18,268)
	1,000m <sup>3</sup>	142,307	196,967 (+ 54,660)	188,813 (+ 46,506)	179,022 (+ 36,715)

## 9-5. 試算結果 家事用(水道料金県内他市との比較)

改定案1～4いずれの場合でも、県内12番目以下に安価な水道料金となります。

口径20mm料金

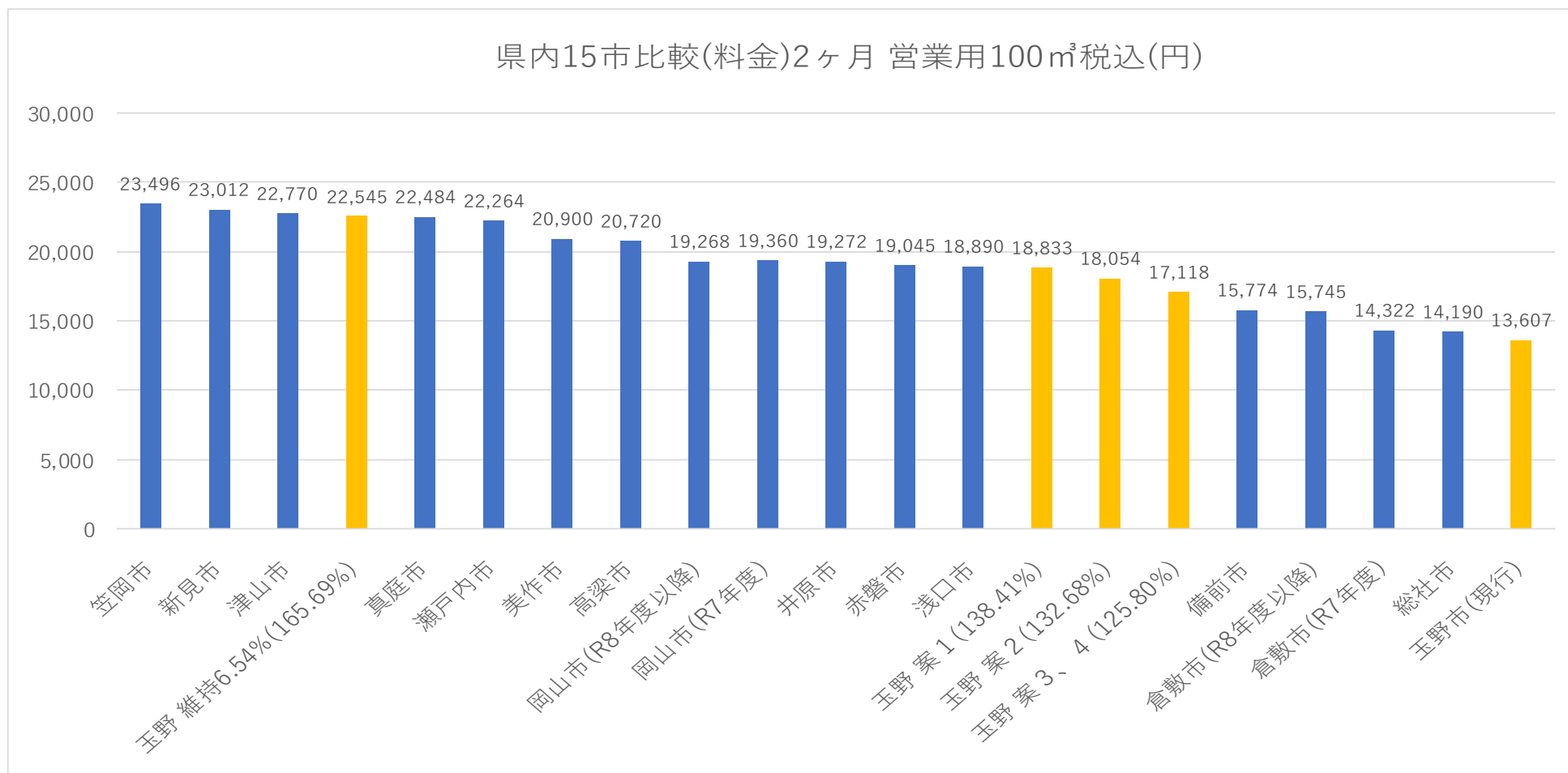




## 9-6. 試算結果 営業用(水道料金県内他市との比較)

改定案1～4いずれの場合でも、県内12番目以下に安価な水道料金となります。

口径20mm料金



## 2. 今後のスケジュール(予定)

審議会回数	開催時期	主な審議項目
第1回	令和7年7月28日(月)	◇委嘱の交付 ◇諮問 ◇水道事業の現状と今後のスケジュール
第2回	令和7年10月28日(火)	◇料金改定率・改定時期の検討
第3回	令和8年1月中旬	◇料金体系の検討
第4回	令和8年2月中旬	◇料金体系の決定 ◇答申案の検討



参考：施設位置及び給水区域

玉野市の水道施設位置及び給水区域

